

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

LIGHT UP ROTARY

ロータリーに輝きを

2014-2015年度 国際ロータリー会長 ゲイリー C. K. ホアン



2014-2015年度

会長:吉田正道 幹事:亀井敏勝 クラブ会報委員長:関 貴之

創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30

例会場/ウェスティンナゴヤキャッスル 名古屋市西区樋の口町3-19 〒451-8551

事務局/TEL 052-684-6591 FAX 052-684-6592

2014 July 16

■ 2014~2015 年度方針

「職業奉仕の原点に立ち返り、いきいき(粋・意気)ロータリーライフ」

NO.3

例会報告

●第2045回例会 平成26年7月16日(水) 晴

●7月はロータリー意識高揚月間(地区)

●ロータリーソング 手に手つないで

●出席報告 会員 104 名中 出席64名
(96)

出席率66.67% 修正出席率86.46%
(7月2日分)

●ゲスト紹介

・ゲストスピーカー

元海上保安庁大型巡視船 船長 丸山明夫氏

・スピーカーゲスト 水野純生氏

●ニコボックス

「先週、経済セミナーに御参集いただきありがとうございました。」 浅野 洋君

「中国へ行って来ました。炭坑では減産、経済は悪
畜なっている様です。上海では日本にいるのと変
わりません。どんどん発展しています。」

加藤一郎君

本日のニコボックス	2件	7,000円
累 計	22件	256,000円

亀井敏勝幹事報告

▽当クラブ行事予定

- ・7月23日(水) 納涼夜間例会、18時~。
場所はウェスティンナゴヤキャッスル
です。お昼の例会はございません。
- ・7月30日(水) 例会終了後、クラブアッセンブリー
を行います。クラブアッセンブリー
終了後、理事会を行います。
- ・8月13日(水) 規定休日のため、休会です。

吉田正道会長挨拶

“コマーシャルソング”

本日は文月3回目の例会です。

昨今、テレビの視聴率低下、テレビ局の赤字が言
われていますが、まだまだ、主力のメディアです。

テレビ・ラジオのコマーシャルソングも時代の変
遷により企業名連呼型、商品説明型、ヒット曲をイ
メージソングにしたものなど諸形態は多様に進化し
てきました。15秒、30秒のスポットコマーシャル
のなかにキャッチ・コピー、メッセージを凝縮する
のですから大変です。昨今はハードディスクレコー
ダーの出現により、CMスキップやリモコンでチャ
ンネルを頻繁に変えるザッピングなどでCMの危機
が言われているようです。

業界事情はさておき、ここ名古屋のご当地CMソ
ングのなかには寿命の長い有名なものがあります。
たとえば「青柳うしろ」「大須うしろ」のCMなど、
いまだに記憶の奥に刷り込まれたままです。さて、
当クラブ会員の企業CMにもなかなかのものがあり
ます。加治佐さんのニッショーのCM。不細工なか
わいいキャラクター、サガッシー・ミツケルが人
気のようです。しかし私の場合、このCMのメロ
ディーは覚えています、残念ながら、途中のフレー
ズが出てこないのです。ところが最後のキャッチ・
フレーズ「いい部屋発見、ニッショー」はメロディー
とともに鮮明に記憶に刷り込まれています。次に安
井さんの安井家具のCM。現在のものはファニチャー
ドームのブランディングのもと、オー・マイキー(マ
イケル・フーコン)シリーズのCMが話題です。相
当スパイシーなブラックユーモアが売りです。そし
て「やたらめったら」のキャッチ・フレーズが受け
ています。しかし実のところ私にとっては、すでに
放映されていない幻の安井家具のCMがいまだに記
憶に刷り込まれています。それは、「いやいやいやー
ん、家具はやすいでなくちゃいやー、家具はやすい
でなくちゃいやー」なんです。おそらく昭和40~5
0年頃に放映されていたと思います。もう一つ、端
山さんのところのCM。これもすでに放映されてい
ません。それは、「見えすぎちゃって困るのー」の
フレーズ3回。当時、白黒のブラウン管に薄手の生
地を通して、水着が透けて見えるCMタレントが登
場するわけです。高性能、高品質なアンテナをアピ
ールしたわけです。

さて、これらのCM、歌詞、キャッチ・フレーズ
は七五調の句で成り立っています。加治佐さんのと
ころは七五、安井さんのところは、七七五、七五。「や

たらめったら」も七。端山さんのところは、七五、七五、七五。不思議な日本語リズムに私は見事に刷り込まれてしまったわけです。どうぞ、会員の皆さんの企業におかれましても参考になさってください。

卓 話

尖閣諸島の海上警備活動

元海上保安庁大型巡視船 船長 丸山 明 夫
初めまして。私は海上保安庁のOBで丸山と申します。



今回機会を頂きましたので、「尖閣問題」について一言述べさせていただきます。

「尖閣問題」とは、一言でいえば、「日本は、固有の領土であり、領有権問題は存在しないとする尖閣諸島に対し、1971年に台湾及び中国が突然領有権を主張したことにより生じている国境紛争」です。

きっかけは、1969年の国連アジア極東経済委員会（E C A F E）による東シナ海海底学術調査において、膨大な原油埋蔵の可能性が指摘されたことによります。

中国は領有権主張後、次々に我が国に対し以下のような領有権主張行動を仕掛けてきております。

①1978年、約100隻の漁船団により、尖閣の領海侵犯及び不法操業実施。

以後繰り返し漁船団による同様の不法行為を行う。

②1992年、中国は「領海法」を制定し、尖閣諸島が自国領であると記載した。

③1996年以降は、香港及び台湾の活動家が尖閣諸島に押し寄せ、尖閣領有権主張行動（いわゆる「保釣活動」）を繰り返している。

④2008年以降は、中国海洋調査船等の「公船」による領海侵犯等の尖閣領有権主張行動が繰り返されるようになった。

⑤2012年、我が国が尖閣諸島を国有化以降は、中国「公船」による尖閣領有権主張行動が激増しており、また空からも防空識別圏の一方的設定、自衛隊機への異常接近といった挑発行動を行うようになった。

中国は、今や尖閣を中国の核心的利益と称し、国際世論の批判は意に介せず、自国の主張を貫き通す構えを見せております。

中国の傍若無人さは、今、南シナ海「西沙諸島」をめぐるベトナムとの領有権紛争において、中国船がすさまじいまでの暴力行為を繰り返していることからよく分かるかと思えます。

尖閣諸島問題は、今や我が国にとって、最重要かつ困難な、いわば「生命線」とも言うべき問題でありまして、現在までは、海上保安庁が総力を挙げて

警備にあたっておりますが、わずか1万3千人の勢力で、広大な我が国の全ての海の問題に対応している現状からして、中国が物量に物を言わせて国境線を変えようとありとあらゆる手段を使って攻勢をかけてきている状況からすると、今の海上保安庁勢力では尖閣防衛線が守り切れるか危惧されます。

また最近の「集団的自衛権論議」の中で、尖閣を念頭に、「武装グループが島に不法上陸し、島を占拠し、警察、海上保安庁で対応しきれない」場合を想定し、「自衛隊が出動できるように自衛隊法を改正して警察権を付与し、自衛隊に対応させる」必要がある（いわゆるグレーゾーン事案）との議論が起こっております。

いざとなれば、これしか手段がないことは判りませんが、我が方が軍隊を出動させれば、相手も軍隊が出動するわけですので、戦争に発展する可能性があり、何としても警察力で尖閣を守りきることが必須要件だと思います。

その為政府も海上保安庁の警備体制の強化方針を打ち出してはいますが、中国側のこのところの尖閣諸島へ出動する勢力が非常に強化されてきていることを考えると、並みの対応では防御しきれません。

海上保安庁の勢力が常に中国側の勢力を上回るように、大々的に強化を図ると共に、船は「浮かべる城」であり、不安定さがあり、力のバランスが崩れると、弾き飛ばされる恐れがありますので、尖閣諸島に「警備拠点（基地）」の設置が不可欠だと思われます。

北方領土および竹島に我が国が手も足も出せないのは、人が貼りついていることからすれば、この件の持つ意味合いはよくご理解いただけることと思えます。

皆様、尖閣問題は、決して南西海域の絶海の一孤島問題ではありません。尖閣を失う、或いは譲歩するようなことがあれば、次は沖縄全体に中国の手が伸びてきます。

東シナ海の海底資源問題に止まらず我が国全体の安全に係わる大問題であります。

どうぞ皆様、この問題に強い関心と深いご理解を頂き、政府に対し強いご叱声を頂くとともに、海上保安庁に絶大なるご声援をよろしくお願い申し上げます。

例会	月日	今後の予定
第2046回	7.23	納涼夜間例会・出席100%表彰 18:00～ウェスティンナゴヤキャッスル
第2047回	7.30	京都女子大学 現代社会学部 現代社会学科教授 西尾久美子氏 「京都花街の経営の極意 ～舞妓さん育成と一見さんお断り～」

○このウィクリーは再生紙を使用しております。